

第2回（平成25年7月期）番組審議会議事録

1. 開催日時 2013年7月31日（水）17：00～18：00

2. 開催場所 弊社会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員 7名 正岡健二・山本幸男・木辻清子・為岡務・宮川清・増田匡・
平川愛恵（中村忠司 代理出席）

欠席委員 1名 萩尾利雄

放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

番組審議

第2回審議番組「ももっちおばちゃんのラジオお昼便！」（15分）

7月16日（水） 13：00～13：15 放送

パーソナリティ： 溝江玲子（作家、遊絲社代表）

ゲスト： 中田進さん（関西勤労者教育協会）

ディレクター・ミキサー： 金千秋（FMわいわい）

提供：遊絲社

毎週水曜日13：00から放送のトーク番組。（再放送は木曜日の13：30～13：45。）

今回の内容は、日本国憲法策定の経緯などについての解説をじっくりと伺っています。

5. 議事の概要

番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 欠席者の審議紹介

【平川愛恵（中村忠司委員代理）】

- ・ 溝江さんと中田さんのトークが非常に耳に優しく、ゆったりとした話し方が聞き取りやすかった。金さんの相槌もタイミング良く入り、内容の理解が深まり興味深く聴いた。

6-2. 出席者の審議

【山本幸雄委員】

- ・ 全体的に良かったと思う。

【木辻清子委員】

- ・ 憲法が作られた過程が良く理解できた。選挙や憲法について考えるきっかけになった。

【正岡健二委員】

- ・ 憲法の成立にはいろいろな意見、議論があるが、論理的なことも必要だが哲学的な側面からの討論もいると思われる。同じやるならFMわいわいでしか言えない話を聞きたい。
- ・ マスメディアではない強みを生かして、様々な意見を世の中に出していく必要がある。
- ・ FMわいわいは中立である必要はない。もっと議論を深めるべきで、そういう意味の煽り方は必要である。

【宮川清委員】

- ・ 参議院議員選挙の公示、投票という時期にタイミングよく番組を放送するのはメディアの責任であり、社会的意義がある。
- ・ これは良くできていたと思われるが、他にも憲法に出てくる言葉を深く掘り下げる番組が欲しいし、FM わいわいはもっといろいろな情報提供の場としてあるべきだ。
- ・ メディアの限界があるからこそ、そこにコミュニティラジオとしての FM わいわいの生きる道、真実を語るという道があるのではないか。

【増田匡委員】

- ・ タイムリーなネタであり、改めて憲法を読むよいきっかけになった。
- ・ 金さんが最後のところで危機感を煽るようなナレーションをしていたが、もっととっつきやすいしゃべり方をしたほうがよいのではと思った。

【為岡務委員長】

- ・ 大手メディアの報道は偏りすぎている気がして憲法をどうするのかわからない。FM わいわいは中立な立場なのか？

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 参議院議員選挙の前ということで、あえて憲法についての番組をお聴きいただいた。
- ・ FM わいわいの一つ一つの番組はそれぞれの担当者が自分の意見を言える場所である。いろいろな考えがある人がいて、中立にまとめることはできない。溝江さんは初めからずっと「憲法改正反対」の立場である。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日
担当者に連絡（平成 25 年 8 月 3 日）
8. 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日
公表内容…議事の内容
公表方法…自社放送（平成 25 年 8 月 3 日 12 : 00～13 : 55 の番組内で放送予定）
事務所に議事録の備置き（平成 25 年 8 月 1 日）
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?cl=13-98>
9. その他参考事項
特になし

以上